

(令和3年06月14日)

< ワンポイントレッスン (実践) >

< 2021年04月のCI先行指数の寄与度 >

・6月7日に発表された今年4月のCI速報値は、上昇。CI一致指数は前月比2.6ポイント上昇して2か月連続の上昇。同一一致指数の3か月後方移動平均は、1.37ポイント上昇、引き続き上昇トレンド。一致指数の基調判断は、「改善を示している」となっています。

2021年4月のCI先行指数

CI先行指数と採用系列の寄与度	2020年		2021年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
<b>CI先行指数</b>	<b>97.1</b>	<b>97.5</b>	<b>98.3</b>	<b>99.2</b>	<b>102.4</b>	<b>103.0</b>
前月差(ポイント)	2.0	0.4	0.8	0.9	3.2	0.6
<b>採用系列の寄与度</b>						
最終需要財在庫率指数	-0.02	-0.14	0.62	-0.13	-0.31	0.55
鉱工業用生産財在庫率指数	0.19	0.11	0.67	-0.12	0.43	0.28
新規求人数(除学卒)	0.69	0.08	-0.46	-0.35	0.80	-0.69
実質機械受注(製造業)	-0.06	0.29	-0.14	-0.18	-0.01	
新規住宅着工床面積	0.05	-0.14	0.03	0.17	0.42	0.06
消費者態度指数	0.01	-0.49	-0.51	0.74	0.78	-0.61
日経商品指数(42種総合)	0.17	0.34	0.34	0.55	0.26	0.51
マネーストック(M2)前年同月比	0.03	-0.05	0.18	0.10	-0.21	-0.26
東証株価指数	0.26	0.19	0.16	0.17	0.09	-0.06
投資環境指数(製造業)	0.42	0.43	0.11	0.06	0.17	
中小企業売上見通しDI	0.31	-0.24	-0.11	-0.09	0.80	0.71
一致トレンド成分	-0.06	-0.04	-0.02	-0.04	0.02	0.07
<b>3ヶ月後方移動平均</b>	<b>95.1</b>	<b>96.6</b>	<b>97.6</b>	<b>98.3</b>	<b>100.0</b>	<b>101.5</b>
前月差(ポイント)	2.50	1.44	1.06	0.70	1.64	1.56
乖離率(%)	2.1	0.9	0.7	0.9	2.4	1.5
<b>7ヶ月後方移動平均</b>	<b>89.1</b>	<b>91.9</b>	<b>94.0</b>	<b>95.7</b>	<b>97.5</b>	<b>98.9</b>
前月差(ポイント)	2.48	2.81	2.10	1.71	1.83	1.40
乖離率(%)	9.0	6.1	4.6	3.7	5.0	4.1

内閣府経済社会総合研究所景気統計部：「景気動向指数」より作成

出所：経済産業省ホームページから作表。

こうした中 CI・先行指数の採用系列指数の動き、特に寄与度に注目。引き続き日経商品指数、投資環境指数が(3月迄)上昇、ここに来て中小企業売上見通しDIが上昇、鉱工業生産において在庫率が好転など順調な動き。反面、新規求人数(除学卒)、消費者態度指数がマイナス寄与上位にあり、マダラ模様の状態。本格回復にまだ距離のある局面とみています。

コロナ禍の影響で要員を少なくしての経験で利益を上げた昨期、ネット取引は増加も消費手控えが常態化しないかトレース。新規求人数、現状、雇用環境の悪さを反映している消費者態度指数の寄与度などに留意したいところです。

(丁)